

様式 2

議事録番号

提出：2014年10月29日

研究会名：放射光構造生物学研究会

日時：2014年9月13日 10:00-12:00

場所：東京大学・生命科学総合研究棟・B301号室

出席者：(議事録記載者に下線)

計 21 名

姚関(北大)、村田武士(千葉大)、沼本修孝(東京医歯大)、伏信進矢、中村顕(東大)、堀越直樹、加藤大貴、鯨井智也(早大)、伊藤拓宏(理研 CLST)、松宮茂樹(協和発酵キリン)、小段篤史(京大)、山下栄樹、東浦彰史(阪大)、山下敦子(岡山大/JASRI)、山本雅貴、引間孝明、平田邦生、山下恵太郎(理研 SPring-8)、馬場清喜、奥村英夫、熊坂崇(JASRI)、(順不同)

プログラム：

1. 開会挨拶
2. 共用ビームラインの新たな運用方法 熊坂崇 (JASRI)
3. HAG 法の現状 馬場清喜 (JASRI)
4. 新しくなった BL41XU 奥村英夫 (JASRI)
5. 総合討論
6. 閉会挨拶

議題：

1. 「共用ビームラインの新たな運用方法」の説明と意見交換
2. 「共用ビームライン」の現状報告と意見交換

議事内容

今回の研究会では、共用ビームライン2本(BL38B1/BL41XU)を中心に、その運用制度変更並びに現状について報告し、意見交換を行うことを目的とした。

まず、熊坂崇氏(JASRI)より、「共用ビームラインの新たな運用方法」として、来年度から変更となる利用制度の説明と、運用の現状に関して報告があった。続いて、馬場清喜氏(JASRI)より、「ポリマーコーティングと湿度調節を組み合わせたタンパク質結晶マウント法」として、HAG法の紹介とビームラインBL38B1の現状と高度化について報告があった。最後に、奥村英夫氏(JASRI)より、「新しくなった BL41XU」として、2013年度末に光学系および測定系を一新した BL41XU について現状報告がなされた。これらの発表内容は、

これらの現状報告および利用新制度の説明に関して、参加者からの質疑、コメントを受け、議論が行われた。その内容は動向調査報告書に記した。

添付書類

- 1) 講演スライド 「共用ビームラインの新たな運用方法」 熊坂崇
- 2) 講演スライド 「ポリマーコーティングと湿度調節を組み合わせたタンパク質結晶マウント法」 馬場清喜
- 3) 講演スライド 「新しくなった BL41XU」 奥村英夫

以上